

令和6年度 病害虫防除情報

令和6年8月28日
発表：福島県病害虫防除所

**オオタバコガの誘殺数が増加しています！
防除対策を徹底し、被害を防ぎましょう！**

- 1 対象作物：野菜類・花き類
- 2 病害虫：オオタバコガ
- 3 対象地域：全域
- 4 発生量：多い

【発生状況等】

- (1) 県内全域に設置しているオオタバコガのフェロモントラップ調査では、7～8月にかけて成虫の誘殺数が平年より多くなっている（図1～3）。
- (2) 8月中下旬の定期巡回調査においては、トマトの果実被害が見られており（図4）、キクについても生長点被害が多発しているほ場が平年より多く確認されている（図5）。
- (3) 仙台管区气象台が8月22日に発表した1か月予報では、期間の前半は気温が高くなると予測されており、さらに発生量が多くなる可能性がある。

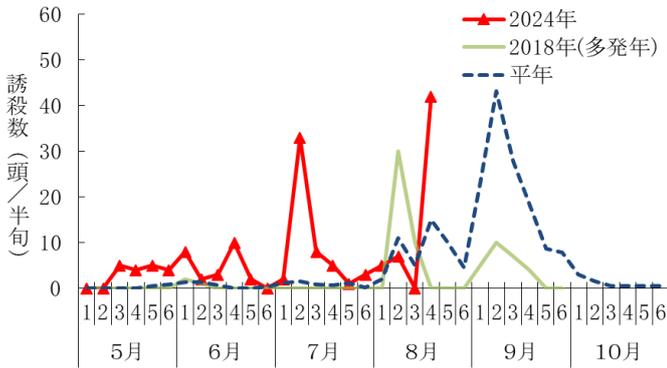


図1 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(猪苗代町:トマト)

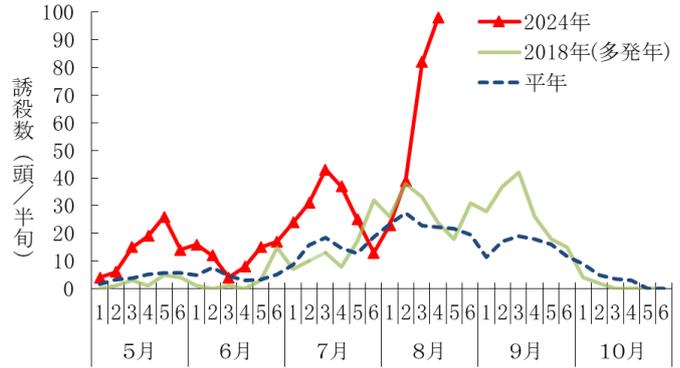


図2 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(伊達市保原町:キク)

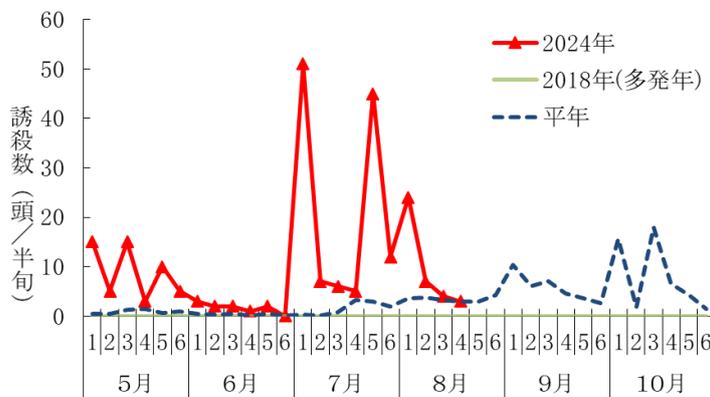


図3 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(新地町:キク)

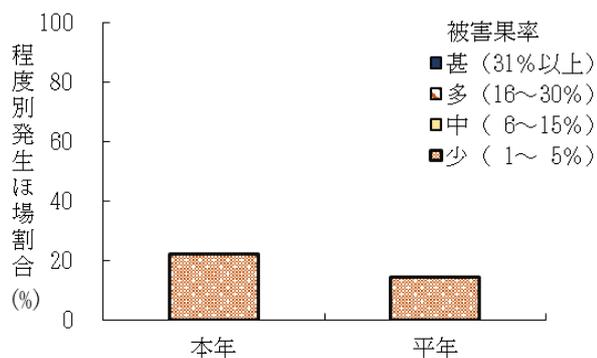


図4 タバコガ類のトマト果実被害発生状況

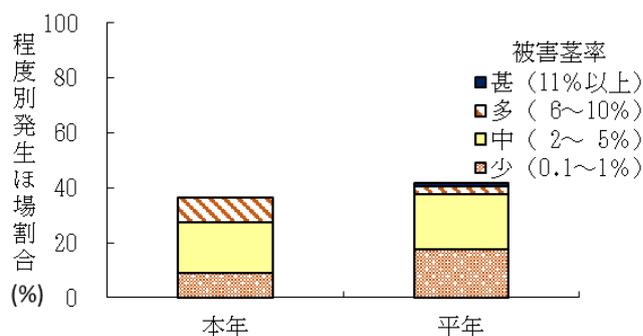


図5 キクにおけるタバコガ類の発生状況

【防除対策】

- (1) 本種の幼虫は野菜類、花き類を中心に加害する。本県で被害が懸念される主な作物は、トマト、ナス、ピーマン、ブロッコリー、イチゴ、キク、トルコギキョウである。
- (2) 幼虫は、生長点付近や花蕾及び果実等を食害する(写真1)。これらの部位をよく観察し、食害痕や虫糞が確認された場合は、薬剤防除を実施する。
- (3) 幼虫の齢期が進むと、茎や果実の内部に潜り薬剤がかかりにくくなるので、若齢期の防除を心掛ける。
- (4) 摘芯や摘蕾及び摘果等により生じた残渣に本種が寄生している可能性があるため、ほ場の外に持ち出して、土中に深く埋設するなど適切に処分する。
- (5) 施設栽培では、開口部に4mm目合い以下の防虫ネットを設置して、成虫の侵入を防ぐ。



写真1 トマト果実を食害するオオタバコガ幼虫



写真2 オオタバコガ成虫

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727